

イギリスの教育動向

—— 初等・中等教育を中心に 2015年3月から2016年2月 ——

宮島 健次

(西武文理大学)

はじめに

前号に引き続き、本稿では、イギリス教育省のプレス発表をもとに、2015年度の各分野での動向を見ていく。

今年度、教育省 (Department for Education) が主として取り組んだ政策は以下の21であり、その中で政策文書とプレス・リリースの合計が多かった政策は第1位が「学校設備とメンテナンス」で19件 (政策文書2件、プレス・リリース17件)、第2位が「資格とカリキュラム」で17件 (政策文書3件、プレス・リリース14件)、第3位が「教育力と学校のリーダーシップ」で16件 (政策文書3件、プレス・リリース12件) であった。

表1 2015年3月から2016年2月において Gov.uk にて公表された各政策別の政策文書 (policy paper) および報道発表数 (press release)

政策名	教育省のみ		
	政策文書	報道発表	合計
1 学校設備とメンテナンス (School building and maintenance)	2	17	19
2 学校とカレッジの資格とカリキュラム (School and college qualifications and curriculum)	3	14	17
3 教育力と学校のリーダーシップ (Teaching and school leadership)	3	12	15
4 チャイルドケアと早期教育 (Childcare and early education)	3	12	15
5 アカデミーとフリースクール (Academies and free schools)	2	11	13
6 若者 (Young people)	0	13	13
7 児童保護と養子縁組 (Looked-after children and adoption)	1	8	9
8 授業態度と出席 (School behaviour and attendance)	1	8	9
9 学校とカレッジのアカウントビリティ (School and college accountability)	4	4	8
10 子どもためのソーシャル・ワーカー (Children's social workers)	3	4	7
11 貧困層の子どもの教育 (Education of disadvantaged children)	1	4	5
12 特別な教育ニーズと身体障害 (Special educational needs and disability (SEND))	2	2	4
13 子どもの健康 (Children's health)	1	3	4

14 平等 (Equality)	1	3	4
15 継続教育と訓練 (Further education and training)	0	4	4
16 教育制度の傍流にいる子どもたち (オルタナティブ部門) (Children outside mainstream education (alternative provision))	1	0	1
17 ファミリー・ジャスティス・システム (Family justice system)	1	0	1
18 貧困と社会正義 (Poverty and social justice)	1	0	1
19 学校スポーツへの参加 (Sports participation)	0	1	1
20 芸術と文化 (arts and culture)	0	0	0
21 学校とカレッジの財政 (School and college funding)	0	0	0
総計	30	120	154

(Gov.ukのサイトから筆者が独自に集計)

今年度の顕著な傾向は、これまでまったく話題になっていなかった「学校設備とメンテナンス」がランキングトップとなっている点である。これは建物の老朽化や失敗校に対しアカデミーへの改組を機に建て替えや改修を行った結果である。だが全体的には、これまでのアカデミーへ倒れであったイギリス教育界の話題も、ずいぶんとその熱が冷めた印象を受ける。これには、2014年3月に起きたトロイの木馬事件が影響している。その証拠に「9 学校とカレッジのアカウンタビリティ」においては、他よりも多い年間4件もの政策文書が発表されている。

トロイの木馬事件は、2014年3月、イングランド中部の都市バーミンガムで「イスラム主義者がバーミンガムや他都市の学校を乗っ取ろうとしている」と告発する手紙が各メディアに送られてきたことに端を発する。手紙には、学校の理事会にイスラム主義者が入り込むことで、校長をはじめ教員を入れ換え、カリキュラムもイスラム教による厳格な教育を実施しようとしていると書かれていた。トロイア戦争でギリシア軍が利用したトロイの木馬になぞらえたこの一件は、イスラム教移民やテロに対する感情から瞬く間に一大スキャンダルへと発展した。実際、Ofstedがバーミンガムのアカデミー21校を調査したところ、16校は基準内だったが残り6校は問題ありであった。ただしそれら6校のうち1校は前回の視察で「優秀」、3校は「良好」、1校は「十分」であった。この事件は、アカデミーの行き過ぎた自由な権限行使を問題視する向きもあれば、あまりに拙速にアカデミーを設置しすぎたため、Ofstedの監督機能が追いつかなかった、という点を問題視する向きもある。

* 追記——2016年6月23日、イギリスがEUから離脱するか否かを問う国民投票が実施された。この投票に至るまでには、まさに国論を二分する過熱した議論が巻き起こり、EU残留派の国会議員が反対派の市民に射殺されるというショッキングな事件も起きてしまった。結果は、大方の予想を裏切り、イギリスのEU離脱が可決された。残留派を指揮したキャメロン首相は辞意を表明、これによって今後のイギリス政治や経済はもとより世界経済も全く先行き不透明となってしまった。もちろん教育も例外ではないだろう。

2016年7月13日、内務大臣のテリーザ・メイ (Theresa May) が保守党党首選挙を待たずに党首となることが決定、翌7月14日には新内閣の顔ぶれが判明した。教育大臣ニッキー・モーガン (Nicky Morgan) は元教育大臣、前司法大臣であったマイケル・ゴヴ (Michael Gove) とともに、その職を解かれ、閣僚から外れた。メイ首相によって新

たに教育大臣（女性平等大臣と兼任）に任命されたのが、前国際開発担当大臣（Secretary of State for International Development）のジャスティン・グリーンング（Justine Greening）であった。その他、担当大臣は以下の通りである。

- 学校担当大臣：ニック・ギブ（Nick Gibb）留任
 - 教育省担当大臣：ロバート・ハーフォン（Robert Halfon）新任
 - 大学・科学担当大臣：ジョー・ジョンソン（Jo Johnson）新任
 - 子ども・家族担当大臣：エドワード・ティンプソン（Edward Timpson）留任
 - 教育省担当政務次官：キャロライン・ダインネイジ（Caroline Dinenege）新任
 - 学校担当政務次官：ナッシュ卿（Lord Nash）留任
- ※ 今回の組織改編で新たに教育省担当大臣（Minister of State）が設置されたが、その管轄範囲は、早期教育、養子縁組と児童保護、教員の給与、学校のカリキュラム、学校改善、アカデミーとフリースクールの設置・認可に関わるものである。

新たに教育大臣となったジャスティン・グリーンングの略歴を紹介しておく。1969年4月30日生まれ、ヨークシャー州ロザラム出身。地元のコンプリヘンシブ・スクールを卒業後、サウサンプトン大学で経済学を学び、卒業後はロンドン・ビジネス・スクールへ進み、MBAを取得。議員になるまでは民間企業でファイナンス・マネージャーを勤める。2005年初当選。当選と同時に、労働年金特別委員会のメンバーとなる。2007年には影の内閣の財務担当大臣、2009年には影の内閣のロンドン担当大臣となる。2010年から2011年には財務省の経済担当大臣、2011年から2012年は交通担当大臣を歴任する。前職は2012年から務めた国際開発担当大臣である。2016年6月に同性愛者であることをTwitterでカミングアウト、史上初のLGBの女性閣僚となる。このようなバックグラウンドをもつ教育大臣が果たしてイギリスの教育をどのような方向に導いていくのか非常に興味深い。

1 学校設備とメンテナンス（School building and maintenance）

- 3月12日 ▶政策文書「学校におけるアスベスト」——学校におけるアスベスト管理に関する教育省の方針のレビューが発表される。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：学校設備とメンテナンス」——学校定員増加と学校建物の十分なメンテナンスへの要求にいかに対応するかを述べている。
- 6月2日 ▶学校リフォーム：総額1,980万ポンドのリフォーム費用を記念するセレモニー開催——学校リフォーム計画の旗艦学校3校でテープカットが行われた。
- 9月10日 ▶古い学校の多くがリフォーム費用として700万ポンド受け取る——44億ポンドもの費用を投じる政府の学校リフォーム計画のおかげで、初等学校は新学期に向けて改修がなされる——かつて全英で最も早く改修すべきと評価されたコヴェントリーのリチャード・リー初等学校は、本日2015年9月10日、学校大臣ニック・ギブより政府の学校リフォーム計画のもとでリニューアルオープンした。

- 9月21日 ▶ウェスト・ミッドランドの学校リニューアルオープン：ヴィクトリア時代から21世紀まで——スタッフォードシャーのムーアゲイト・プライマリー・アカデミーの校舎はヴィクトリア時代に建設され、これまで使用されてきたが政府の44億ポンドの学校リフォーム計画のおかげで、全面的に改修された。
▶ダービーの初等学校が数百万ポンドの最新のハイテク建物内にリニューアルオープン——レイゲート・パーク・スクールは政府の44億ポンドのリフォーム計画を通じてリニューアルオープンされた。
- 9月23日 ▶ケントの学校が数百万ポンドをかけリフォーム——カンタベリー初等学校が政府の44億ポンドのリフォーム計画を通じてリニューアルオープン。
- 9月24日 ▶リヴァプールのスペシャリスト・スクール2校が数百万ポンドの建物内にリニューアルオープン——バンク・ビューとレッド・ブリッジ・ハイスクールが政府の44億ポンドのリフォーム計画のもとリニューアルオープンした。
- 9月25日 ▶ノースウェストの学校が数百万ポンドをかけリノベーション——メスネ・リー初等学校が政府の44億ポンドのリフォーム計画のもとリニューアルオープンした。
▶ダラムの学校がリニューアルオープン——ウェスト・コンフォース初等学校が政府の44億ポンドのリフォーム計画のもとリニューアルオープンした。
- 10月2日 ▶グリムスピー校の生徒たちはタイムカプセルを埋めた——グレート・コーツ初等学校は政府の44億ポンドの学校リフォーム計画を受けて学校がリニューアルしたことを受けて記念にタイプカプセルを埋めた。
▶優先的 school リフォーム・プログラム：エセックスのスペシャリストスクールがリニューアルオープン——エディス・ボースウィック・スクールが44億ポンドのリフォーム計画のもとリニューアル。
- 10月12日 ▶ノース・リンカンシャーの学校がリニューアルオープンを祝う——ベイズガース・スクールが44億ポンドのリフォーム計画のもとリニューアル。
- 10月14日 ▶カンブリアの2校が2千万ポンドをかけリノベーション——ワーキングトンの学校2校が新規にアカデミーとして再出発。
- 11月6日 ▶優先的 school リフォーム・プログラム：2校がリフォーム開始——マーデン・ハイスクールとジョン・スペンス・コミュニティ・ハイスクールが政府の44億ポンドのリフォーム計画のもとリニューアルすることとなった。
- 11月19日 ▶優先的 school リフォーム・プログラム：ラグビー界のスターの学校がリニューアルオープン——イングランドのラグビー・スター、マイク・ブラウンが勤めるソールズベリーのウィヴェム・カレッジがリニューアルオープンすることとなった。
- 11月27日 ▶サフォーク・アカデミーが新校舎への移転を祝う——政府の44億ポンドのリフォーム計画を受け、サフォーク・アカデミーがリニューアルオープン。旧校舎で使用していた机などの設備はアフリカの学校へと譲渡した。
- 16年1月4日 ▶何千もの生徒たちが新校舎で2016年を迎える——政府の44億ポンドのリフォーム計画のもと、新たに13の学校がリニューアルオープンする計画である。
- 1月8日 ▶ダービーの子どもたちは新校舎を祝う——政府の44億ポンドのリフォーム計画のおかげで、カーライル・インファント・ナーサリー・スクールがリニューアルオープンした。

2 学校とカレッジの資格とカリキュラム (School and college qualifications and curriculum)

- 3月1日 ▶学校での成功によって賃金が14万ポンド増える——40万人以上もの教育業界関係者への経済的利益の詳細な調査によって、学校評価でよい成績をとることの重要性が分析によって明らかになった。
- 3月5日 ▶政策文書「読書：学校での高水準を支援」——学校での読書の水準改善を支援し、娯楽のための読書をどううながすか報告。
- 3月22日 ▶理科と数学、女子の将来の給料アップに——本日、科学やテクノロジー、エンジニアリング、数学の資格が女子の生涯賃金にどのような影響を与えるかということに焦点を当てた報告書が発表となった。報告書によれば、科学と数学のAレベルを学んだ女子の給料は、そうでない女子の給料より3分の1程度多い。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：学校とカレッジの資格とカリキュラム」——学校後の人生に教育が関与するために政府が何をしているか報告。
- 8月13日 ▶Aレベルの数学へのエントリー20%増——学校担当大臣ニック・ギブは本日発表になったAレベルの結果を受けて、数学をエントリーした若者が2010年から5年間で20%増加したことを歓迎した。
▶試験結果ヘルプラインに何千もの電話——大学進学および見習い研修制度、学生ローンや職業機会に関するアドバイス受けようと、3,000件にも及ぶ電話が試験結果ヘルプラインにかかってきた。
- 8月20日 ▶STEM科目受験のうねりがGCSEの結果に示される——教育大臣ニッキー・モーガンは本日発表になったGCSEの結果を歓迎した。それによれば、この一年で数学や科学、エンジニアリングなどのいわゆるSTEM (Science, Technology, Engineering and Math) 科目にエントリーした若者は78,000人以上にも及んでいる。
- 8月27日 ▶9万人以上の生徒が数学とリテラシーを身に着けて初等学校を卒業——本日公表されたキー・ステージ2の結果によると、中等教育に進学する11歳児のかなりの数が2010年と比べると読書や作文、算数などで卒業時には十分な学力を身につけていることが明らかとなった。
- 9月3日 ▶職業世界に向けて十代の若者に、より実践的な数学の授業が用意された——今週各学校で始まった新たな実践数学コースで、生徒たちはどのように自分の数学的スキルを、利息の計算や利益率、最高の為替レートの取得などに応用できるかを学ぶ。
- 9月24日 ▶フォニックスに焦点を当てる重要性——フォニックス・チェックを中心とした若者の読み方を転換する政府の学びの改革は12万人もの子どもたちを素晴らしい読者へといざなっている。
▶ニッキー・モーガンとデビッド・ウィリアムスが識字能力向上を訴える——教育大臣ニッキー・モーガンと児童文学作家でコメディアンでデビッド・ウィリアムスは本日、大手出版社や学校、早期教育プロバイダらに、5年以内にイギリスの生徒たちをヨーロッパで最も識字能力が高い子どもたちにしよう協力することを訴えた。
- 10月15日 ▶アカデミープログラムのもと学力水準は向上し続けている——今年のGCSEの

- 暫定的な結果が本日発表されたが、それによれば現政府の旗艦的なアカデミープログラムのもと、全国を通じて教育改革は浸透し、かつ水準は向上していることが分かった。
- 11月10日 ▶ GCSEの新たな科目、デザイン・アンド・テクノロジーが次世代のトップのデザイナーを生み出す——業界の専門家によって開発された資格は雇用者が必要とするスキルを生徒に備えさせる。
- 11月17日 ▶ 100冊の古典作品を低価格で学校に提供——学校大臣ニック・ギブは本日、各出版社に100冊の古典作品を低価格で学校に提供するよう要請、そうすれば子どもたちがそれらを読むチャンスができるとした。
- 16年1月3日 ▶ すべての11歳児は掛け算の九九を暗記するべき——本日、教育大臣ニック・モーガンが明らかにしたところによれば、掛け算の九九をチェックできるアプリが2017年までには全国で展開され、どの生徒も初等学校の終わりまでには最大12×12までの九九を暗記することが望まれている。
- 2月10日 ▶ 政策文書「学校におけるPSHEとSRE——政府の回答」——教育特別委員会のPSHE (personal, social, health and economic education) とSRE (sex and relationships education) 報告書に対する政府からの回答。
- 2月13日 ▶ 学校への古典作品提供、第一弾がスタート——ペンギン社と学校大臣ニック・ギブのおかげで『ジェーン・エア』と『ガリバー旅行記』が第一弾として各学校に納入された。その他『アンナ・カレニーナ』『三十九階段』『それでも夜は明ける』などがペンギン・クラシックス100冊シリーズとして学校に提供された。これは先般の学校大臣ニック・ギブからの、学校で古典作品を教えたいという要請の結果である。

3 教育力と学校のリーダーシップ (Teaching and school leadership)

- 3月4日 ▶ ベテラン勢によるリーダーシップの多様性を促進する補助金募集——各学校は、学校主導のプロジェクトを支援する最高3万ポンドの補助金申請が求められている。
- 3月11日 ▶ 数学と物理の教師をもっと教室へ——キャリア変更を促す新たな取り組みが来月より開始——来月より元教師や学生時代に優秀な成績を修めたものを対象に、数学、物理の教職へのキャリア変更が容易になるような訓練やインセンティブが開始される。
- 3月18日 ▶ 高度なスキルを身に着けた理事のリクルートに100万ポンド——本日、学校大臣ナッシュ卿 (Lord Nash) は、各学校が必要とするスキルを備えた専門家をリクルートするためオンラインサービスとオーダーメイドの支援に100万ポンド以上を投資することを発表した。
- 3月20日 ▶ 政府、教職の社会的地位向上計画を公表——計画には、新規に私立の教職大学の設置を含む。そこでは教職を法律家や医者のように社会的地位の高い職業専門職にするための高品質な授業や訓練が現職教員を対象に行われることになる。
- 3月22日 ▶ 理科と数学、女子の将来の給料アップに——本日、科学やテクノロジー、エンジニアリング、数学の資格が女子の生涯賃金にどのような影響を与えるかということに焦点を当てた報告書が発表となった。報告書によれば、科学と数学のAレベルを学んだ女子の給料は、そうでない女子の給料より3分の1程度多い。(前掲)
- 3月24日 ▶ カーター報告書の提言が実現へ——専門家グループとティーチング・スクール

- ・カウンシルがイングランドの初年次教員研修制度を改善するための作業を開始した。
- 3月26日 ▶教職に就く PhD コースの卒業者に上限4万ポンドを支給——政府は優秀な頭脳を学校に惹きつけるための計画を発表した。
- 3月27日 ▶著作権に関する協定によって学校は400万ポンド節約——著作権に関する協定は、時間のかかる書類作成作業から教師や学校を解放し、教育に集中させることができる。全英の学校と地方当局は学校で楽曲の利用に関する協定を結んだことでおよそ400万ポンド近くを節約できる。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：教育力と学校のリーダーシップ」——学校が教職とリーダーシップの訓練と開発、および彼らへの給料と仕事の質の向上にどれだけ大きな役割を果たすかを解説。
- 10月1日 ▶コア科目の教員になる優秀な学生には3万ポンドまで支給——数学や物理などのコア科目の教員を目指す優秀な大卒者がその潜在的な能力を十分に発揮できるよう、2016年度は彼らに最大3万ポンドまでの非課税型の奨学金を多数用意することが学校大臣ニック・ギブによって発表された。
- 10月12日 ▶NCTL (National College for Teaching and Leading) の新しい理事長が着任——経験豊かなスクール・リーダーが、学校制度のさらなる改善のために任命された。デヴォン州の優秀校の校長であり、サウスウエストの成功したアカデミーの最高経営責任者 (CEO) でもあるロジャー・ポープ (Roger Pope) がこのほどNCTLの新理事長に就任することが教育大臣ニッキー・モーガンによって告知された。
- 10月27日 ▶全国教員雇用促進 (National teacher recruitment) が進行中——本日から公開された新CMが人々に職業としての教職を意識させ興味を持たせている。
- 11月10日 ▶政策文書「2009年から2010年までの学年度における教育力の改善」——イングランドの教職がいかに改善されたか根拠を示している。
- 12月4日 ▶政策文書「STRB：2016年度の学校スタッフへの報償財源の根拠」——教員とスクール・リーダーへの報償に関するSTRBへの政府の根拠。
- 16年1月29日 ▶全国ティーチング・サービス計画が実行中——ノース・ウエストの有能な教師とミドル・リーダーは、彼ら専門家を必要とする同地域の各学校で働くように全国ティーチング・サービスへの参加を促されている。ニッキー・モーガンが本日発表した。

4 チャイルドケアと早期教育 (Childcare and early education)

- 3月3日 ▶大臣たちは早期教育のプロバイダたちに感謝の意を表した——子ども大臣サム・ジャイマーは彼のモラルミッションを、保護者への最高のチャイルドケアを通して実現してくれたとして全国のチャイルドケアのプロバイダをウェストミンスターに集め謝恩会を開催した。
- 3月5日 ▶今年の顔となったママ芸能人、ミッチェル・ヒートン (Michelle Heaton) がIT企業のサミットに出席、チャイルドケアのアプリの開発に乗りだす——教育省はデジタル部門に乗り出し、保護者が自分たちにマッチしたチャイルドケアのオプションを選べるようアプリを開発する。
- 3月10日 ▶親たちは子どもの発達の全体像を得られる——200万ポンドを超える新たなチャイルドケア改革のもとで、2歳児から教育と健康の発達に関する両方の情報

- を得ることができる。
- 3月12日 ▶ナースリーの新人に応急処置の訓練が必修に——2012年にナースリーで愛娘ミリーを悲劇的に失くしたジョアンヌとダン・トンプソン夫妻は以後現行のナースリー・システムの変更を促すキャンペーンを展開している。彼らを支援する政府の新提案のおかげで、ナースリーと就学前教育機関の新たなスタッフには子どものための応急処置を実施することが必須となった。
- 3月13日 ▶地域のナースリーと連携する学校に500万ドル与えられる——チャイルドケア大臣サム・ジャイマーは早期教育の質を改善する基金を発表した。
- 3月23日 ▶すべての学校はチャイルドケアのオプションをリストアップする——学校は親がどのオプションが利用可能なのかをすぐ知ることができるように、学校のパフォーマンス・テーブルと一緒にチャイルドケア部門に関する情報を公開するようになる。
- 3月25日 ▶「人生を変える」子どもサービスの実現に2500万ポンドを注入——教育大臣はボランティア組織への補助金から弱い子どもと若者が恩恵を受けると発表した。教育省のボランティア・コミュニティ部門の補助金は来年度を通じて人生を変えるサービスの改革あるいは提供に使用される。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：チャイルドケアと早期教育」——子どもたちがより良くスタートできるようにチャイルドケアと早期教育を政府がどのように改善していくかを報告。
- 6月1日 ▶政府、共働きの家庭は無償チャイルドケアを2倍受けられることを計画——当初の計画よりも早い段階で親は30時間の無償チャイルドケアを受けることができる。
- 7月1日 ▶現場の最前線に出る前に最新のスキルをチャイルドケア・スタッフに——本日、チャイルドケア大臣サム・ジャイマーは、チャイルドケア業界で仕事を探す人に、子どもたちに人生で最高のスタートを与えるのに必要な最高レベルの支援を与えることを発表した。
- 8月26日 ▶共働きの家庭が2倍の無償チャイルドケアを受けられるまであと一年——教育大臣はチャイルドケア機関や団体に対し、当初の計画より一年前倒しで2016年9月には30時間の無償チャイルドケアを提供するよう要求した。
- 10月13日 ▶就学前教育に通う子どもの数が過去最高に——本日発表になった統計によると、算数と識字で5歳児の段階で期待されるレベルに達している子どもが過去最高になったことが明らかになった。これは学校に入学した初年度で成功への道にのることを意味する。
- 12月4日 ▶政策文書「チャイルドケア法：政策提言」——政府の意図はチャイルドケアの無償部分の確保である。
- 12月17日 ▶政策文書「適正価格のチャイルドケア：特別委員会報告書への回答」——適正価格について検討した議会の特別委員会による最終報告書に対する政府の反応である。
- 16年2月2日 ▶何千もの家庭が30時間の無料チャイルドケアで恩恵を受ける——チャイルドケア大臣サム・ジャイマーは本日、当初の計画を1年前倒しし、1,300万ポンドを投入することを発表。これによって共働きの家庭では3歳～4歳児の無償チャイルドケアを現状の倍の量で提供されることになる。

5 アカデミーとフリースクール (Academies and free schools)

- 3月11日 ▶サリーのカレッジで若者をサイバーセキュリティの専門家として訓練——学校大臣ナッシュ卿 (Lord Nash) がギルドフォードにユニバーシティ・テクニカル・カレッジを新設することを発表。何百人もの生徒が、テクノロジーの企業からバックアップを受けた大学でサイバーセキュリティの専門家として訓練されることとなる。
- 3月18日 ▶フリースクール認可の波——親の学校選択と地域の学校をより良いものにする政策は政府のミッションである。その一環として、デビッド・キャメロン首相は新たに全国で49校のフリースクールの開校を認可したことを発表した。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：アカデミーとフリースクール」——アカデミーとフリースクールが学校制度に自律性と多様性をどのようにもたらすかを説明。
- 5月22日 ▶フリースクールは社会正義を実現するとニッキー・モーガン——教育大臣はフリースクールへの窓を開けた。彼女によれば、フリースクールは「社会正義の現代のエンジン」であり、「貧困の連鎖を解消する」ものである。
- 6月3日 ▶新しい法律によって1,000校もの失敗校が転換される——教育と養子縁組に関する新法は、これまで変革を妨げてきた学校の官僚制を一掃し、合法的な抜け穴をふさぎ、失敗校の転換を促進させる。
- 7月13日 ▶政策文書「崖っぷち学校 (Coasting schools)：規制の解説」——教育と養子縁組法のために、委員会の段階で議論の俎上にあげられた「崖っぷち学校」の規制について解説。
- 9月2日 ▶首相：我々はフリースクールの開設に迷わない——18校のフリースクールが新たに開設、9,000人定員が増えることになる。デビッド・キャメロン首相は本日、今後5年間で新たにフリースクールを500校開設するということは揺るがないと宣言した。
- 9月7日 ▶ニッキー・モーガンがビジネス界のリーダーに学校改革に加わるよう依頼——教育大臣ニッキー・モーガンは本日イギリスのトップ企業の経営者を招き、失敗校の改善のために彼らの経験と専門知識を適用するよう依頼した。
- 10月15日 ▶アカデミープログラムのもと学力水準は向上し続けている——今年のGCSEの暫定的な結果が本日発表されたが、それによれば現政府の旗艦的なアカデミープログラムのもと、全国を通じて教育改革は浸透し、かつ水準は向上していることが分かった。(前掲)
- 10月21日 ▶失敗校の改編に関してあなたの意見を求む——政府は失敗校に対し迅速な対応がとれるよう意見や提案を公募。
- 16年1月5日 ▶全国学校委員 (National Schools Commissioner) を新規に任命——デビッド・カーター卿 (Sir David Carter) が教育省より全国学校委員に任命された。
- 1月21日 ▶18歳以降の教育において貧困層の子どもの数が過去最高——シックスス・フォームやカレッジを卒業後、大学あるいは職業訓練に進む貧困層の子どもの数が増加したことが本日発表となった統計によって明らかになった。
- 2月5日 ▶ゲームワークショップの創設者でもある起業家がフリースクールを2校開設——ゲームワークショップの創設者の一人で、コンピュータ科目のカリキュラムの刷新に携わったイアン・リビングストーン (Ian Livingstone) が、新たにコンピュータサイエンス、テクノロジー、芸術に特化したフリースクールを2校開設することが本日教育大臣より発表された。

6 若者 (Young people)

- 3月11日 ▶訓練生プログラムは多くの見習い研修生制度とともに仕事に役立っている——本日発行された新たな報告書によれば、政府の訓練生プログラムに参加している若者の大多数は見習い研修制度、雇用、継続教育機関等に進み、若者、雇用者、提供者それぞれがこの訓練生制度の質に満足しているという。
- 3月12日 ▶教育を受けたり働いたりしている若者の割合が過去最高となる——昨年12月までに教育、雇用、訓練機関のいずれかに参加した16歳から17歳以降の若者は90.2%となり、2014年度と比べると0.4ポイント向上した。同時期の2013年と比べると4,000人も増加で、2012年以来2.3%の増加である。
- 3月16日 ▶フェンシングを全生徒必修にしているフリースクールが表彰対象に——ニッキー・モーガンは人格教育の優秀校として、フェンシングを全生徒必修にしている学校を、生徒たちに気力と我慢強さといった性格を注ぎ込んでいる学校として表彰した。
- 3月19日 ▶10代の若者におけるNEETの数が2011年に統計を取り出してから過去最低に
- 3月24日 ▶若者の将来の決定にオンライン・リソースを活用——16歳以降の教育コースのリストが刷新され、若者、学校、保護者に信頼できる情報を提供している。
- 3月25日 ▶学校のメンタルヘルスに対する汚名返上に取り組む新たなアクションプラン——全国の学校はメンタルヘルスについての教育改善と学校での汚名返上に取り組む新たな助言を受けることになる。現在、10人に1人、1教室におよそ3人の子どもの診断可能なメンタルヘルスの疾患を持っている。
- 9月10日 ▶ニッキー・モーガン、ラグビーチームのサラセنزFCの学校訪問に参加——ニッキー・モーガンはロンドン・スクールで行われたラグビーチーム、サラセنزFCの学校訪問に参加し、ラグビーなどのスポーツ・エートスが気力と我慢強さを子どもたちに教える、ということを学んだ。
- 10月20日 ▶多くの若者が16歳以降も働いているか学んでいる——本日発表された統計によれば16歳以降の若者の多くが卒業後も継続して学ぶか、訓練を受けたり職業についたりしている。
- 11月5日 ▶技術・専門教育 (Technical and Professional Education: TPE) 改革は継続中——職業世界に通じるより明確なルートを備えた新たなシステムが、若者に現代経済社会で雇用者が必要とするスキルを身に付けさせるだろう——本日スキル大臣ニック・ポールズによって、世界でも有数な技術・専門教育にするための画期的な改革計画が発表された。
- 11月10日 ▶GCSEの新たな科目デザイン・アンド・テクノロジーが次世代のトップのデザイナーを生み出す——業界の専門家によって開発された資格は、雇用者が必要とするスキルを生徒に備えさせる。(前掲)
- 16年1月11日 ▶新世代のメンターたちが悩める十代の若者を救うとデビッド・キャメロン首相が宣言
- 1月25日 ▶保護者は学校への入学プロセスに関するよりよい案を得られる——新たなルールによって信仰学校 (faith school) に対する世俗主義的キャンペーングループからの不満が止まるだろう。政府は入学プロセスにおける官僚主義を排除し、親がより多くの案を得られるようにする。その結果、彼らはこのシステムを信頼す

るようになるだろう、と教育大臣ニッキー・モーガンは本日発言した。

- 2月2日 ▶ノース・イーストの十代の若者が教育大臣から表彰される——生徒ジョージ・ハンターはメンタルヘルスに関して世間の注目を喚起したとして優秀な学業、ボランティア活動を修めたものに与えられるグレンマラ卿記念賞を贈られた。

7 児童保護と養子縁組 (Looked-after children and adoption)

- 3月2日 ▶LGBTの家庭に引き取られる子どもの数、過去最高に——昨年、480人もの子どもがレズ、ゲイ、バイ・セクシャル、トランスジェンダーの家庭に引き取られ、そこで愛に溢れる安定した生活を送れていることをうけ、大臣はLGBTのコミュニティがか弱い子どもたちに「無私の献身」を行っているとして謝意を示した。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：児童保護と養子縁組」——政府がいかに養子縁組にかかる時間を削減し児童保護ケアの質を向上しているかを解説。
- 5月23日 ▶養子縁組の遅延を終わらせる新基準発表——次週の女王のスピーチで養子縁組システムのさらなる改善案のアウトラインが発表される。
- 6月11日 ▶エドワード・ティンプソンとロレイン・パスカルが里親ケア週間に注目——里親ケア週間を機に、ソーシャルメディアを使って里親ケアに関するよくない神話を払拭していくことが明らかになった。
- 6月19日 ▶政策文書「地域の養子縁組機関プログラム」——地域の養子縁組機関の情報。
- 6月20日 ▶養子縁組の遅延を終わらせるために450万ポンド投入——養子縁組を待つ子どもに「永遠の家族」を与えようと熱心に取り組んでいる全英有数のトレイルブレイジングの養子縁組機関に政府が用意した新たな基金から450万ポンドが支給された。
- 10月28日 ▶子どもの居住ケア——生活の変化に関するレビュー——首相と教育大臣は子どもたちの居住ケアに関する総合的なレビューを発表した。
- 11月2日 ▶養子縁組を高め、受付の遅延を削減——デビッド・キャメロンは養子縁組される子どもの数を増やし、その決定プロセスの迅速化のための措置を発表した。
 - ・養子縁組が決まった子どもたちがすぐに新しい家庭に行けるようにする。その数を従来の2倍にする。
 - ・親戚が子どもを預かる場合、その家庭がしっかりとその子の面倒を見れるかどうかで判断する。子どもが一度も会ったことのない親戚などは除外する。
 - ・養子縁組に関する公的サービス機関はすべて他の地域団体と連携する。そうすれば子どもはより速く、マッチした家庭に行くことができる。
- 12月24日 ▶リアリティ TVスターが教育省に加わり里親ケアにスポットライトを当てる——エセックスのスター、デビー・ダグラスとその娘リンダ・ブライトが里親大使として教育省に参加した。デビー・ダグラスはリアリティ TVのスターであると同時に20年以上も里親のケアを行ってきた。
- 16年1月14日 ▶政策文書「子どものソーシャルケア改革：変化への視点」——政府がか弱い子どもを保護し、子どものソーシャルケアサービスの向上のために何をしているかを解説している。

▶教育大臣が養子縁組法の改正計画を発表——重要かつ緊急な法改正によって裁判所や議会は常に養子縁組を見据えた対応をするようになるだろう。

8 授業態度と出席 (School behaviour and attendance)

- 3月26日 ▶所在不明の生徒の数が過去最低レベルに——本日発行された最新の出席状況の統計によれば、長期欠席の数は2010年以来下がり続け、約20万人となっている。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：学校における態度と出席」——2013年から2014年の初等学校、中等学校、特別学校の欠席状況について報告している。
- 5月31日 ▶ラグビーコーチが生徒たちの精神を鍛える——ニッキー・モーガンは政府の「真の社会正義を提供するコア・ミッション」の一環として、生徒に気力や我慢強さを教えるラグビーコーチのための基金を作ることを本日発表した。
- 6月16日 ▶水準の向上と態度の改善のための新しい改革——ニッキー・モーガンは学校卒業時には主要科目で世界レベルの資格をとれるようにする新たな基準を発表した。
 - ・世界の学力上位国と同じレベルに相当する「Good Pass」をGCSEに新設。
 - ・生徒の学習時間のほぼ一日に相当する低レベルな授業妨害に対抗するため、学習態度に関する専門家による教員への新しいトレーニングの開発。
 - ・学校はすべての生徒に対しコア学術科目の履修を確実にすべき。
- 9月6日 ▶多くの学校が全国規模としては初のセーフティツールにサインアップ——政府は大人になってからの人生をしっかりと準備できるような助言やコツを子どもに伝えられるよう、親に対して新たなインターネットツールを作成した。
 - ・インターネットの危険に取り組む親たちを支援する、前例のないアドバイスと支援を提供する新たなオンラインサービスに550校もの学校がすでに登録している。
 - ・5人に一人の親が、現状ではインターネット上の子どもの安全を守ることができないと感じている。
 - ・9歳から16歳の女子の4分の1は、インターネットに関して何らかの悩みを抱えている。
- 9月13日 ▶授業態度におけるスマートフォンの影響に関するレビュー——学校大臣ニック・ギブは授業中のスマートフォンの利用に伴う授業態度に関するレビューをトム・ベネット (Tom Bennet) が行うことを発表した。
- 11月15日 ▶学校でのいじめ、減少——新たな研究ではいじめ被害にあった子どもが過去10年で3万人も減少したことが明らかになった。
- 12月22日 ▶学校や家庭におけるインターネットから子どもを守る新たな方法が発表——子どもをインターネットの危険、ネットいじめやポルノ、過激主義などから守るためにすべての学校で不適切な内容をフィルタリングすることが義務付けられる。
- 16年1月19日 ▶「ねじれたイデオロギーの呪文」から子どもたちを守る——教育大臣ニッキー・モーガンは過激主義から子どもたちを守るための一連の措置を発表した。

9 学校とカレッジのアカウントビリティ (School and college accountability)

- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：学校とカレッジの財政とアカウントビリティ」——学校とカレッジの財政を公正にかつ生徒への教育に

- 責任を持つように政府が何をしているかを報告している。
- 6月16日 ▶ニッキー・モーガン、学校視察の結果を喜ぶ——教育大臣は先ごろ発表された Ofsted の最新のデータを歓迎した。そのデータによれば、良好 (good) と優秀 (outstanding) と評価された学校は過去最高の数を示している。
- 6月30日 ▶何百校もの「崖っぷち (coasting)」学校が改編される——政府は「崖っぷち」学校を「生徒の潜在能力を引き出すことに失敗した学校」と新たに定義し、改編の対象と見なされる。
- 9月17日 ▶政策文書「レベルなしの評価に関する委員会：政府の回答」——レベルなしの評価に関する委員会の最終報告書の提言に対する政府の回答。
- 10月21日 ▶失敗校の改組に関してあなたの意見を求む——政府は失敗校に対し迅速な対応がとれるよう意見や提案を公募。(前掲)
- 16年1月19日 ▶政策文書「独立学校の規制」——独立学校の管理や未登録の学校に対し政府がどのような法的手続きを行っているかを報告。
- 1月21日 ▶18歳以降の教育において貧困層の子どもの数が過去最高——シックス・フォームやカレッジを卒業後、大学あるいは職業訓練に進む貧困層の子どもの数が増加したことが本日発表となった統計によって明らかになった。(前掲)
- 2月12日 ▶政策文書「英国バカロレア (EBac)」——英国バカロレアの成績をどのようにカウントするか、その基準となる資格の調整について報告。

10 子どもためのソーシャル・ワーカー (Children's social workers)

- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：子どもためのソーシャル・ワーカー」——ソーシャルワーカーと他の専門家が精神的肉体的にか弱い子どもたちへの支援や保護を確実にできるようにするために政府がどのように働きかけるかを報告。
- 6月12日 ▶政策文書「雇用における年次評価と支援 (Assessed and Supported year in employment: ASYE)」——新たに有資格ソーシャルワーカーとなった人のための ASYE プログラムを説明し、組織に参加登録するにはどうするかを解説。
- 6月24日 ▶子どもの保護プログラムの改編に関する作業部会を立ち上げ——子どもの保護に関する作業部会は、私たちの社会で最もか弱い子どもたちを保護し、彼らに成功への機会を与えるために根本的な改編を行うようデビッド・キャメロン首相から指示された。
- 7月28日 ▶イザベル・トロウラー (Isabelle Trowler) が上級ソーシャルワーカーのための新基準を発表——首席ソーシャルワーカーがスーパーバイザーや指導的立場にあるソーシャルワーカーが身に付けておくべき知識とスキルの新たな基準を発表した。
▶養子縁組を高め、受付の遅延を削減——デビッド・キャメロンは養子縁組される子どもの数を増やし、その決定プロセスの迅速化のための措置を発表した。
- 11月2日
- ・養子縁組が決まった子どもたちがすぐに新しい家庭に行けるようにする。その数を従来の2倍にする。
 - ・親戚が子どもを預かる場合、その家庭がしっかりとその子の面倒を見れるかどうかで判断する。子どもが一度も会ったことのない親戚などは除外する。
 - ・養子縁組に関する公的サービス機関はすべて他の地域団体と連携する。そうすれば子どもはより速く、マッチした家庭に行くことができる。(前掲)

- 16年1月14日 ▶政策文書「子どものソーシャルケア改革：変化への視点」——政府がか弱い子どもを保護し、子どものソーシャルケアサービスの向上のために何をしているかを解説。
▶ニッキー・モーガンが子どものソーシャルケアの改編計画を発表——教育大臣はソーシャルケア職の水準向上のために新たなソーシャルワーク団体の設立計画を議論の俎上に乗せた。

11 貧困層の子どもの教育 (Education of disadvantaged children)

- 3月25日 ▶ピューピル・プレミアム・アワード2015の入賞校が表彰された——貧困層の子どもたちの教育達成を引き上げたとして全国から選ばれたアカデミーが最高賞金25万ポンドを与えられた。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：貧困層の子どもの教育」——貧困層の子どもたちが学校で、ピューピル・プレミアムやサマー・スクールのような先行事例のように追加の支援を受けられるようにする計画を発表。
- 9月10日 ▶ニッキー・モーガン、ラグビーチームのサラセنزFCの学校訪問に参加——ニッキー・モーガンはロンドン・スクールで行われたラグビーチーム、サラセنزFCの学校訪問に参加し、ラグビーなどのスポーツ・エートスが気力と我慢強さを子どもたちにおしえることを学んだ。(前掲)
- 12月23日 ▶教育大臣はすべての子どもたちがこのクリスマスに本を開くことを期待する——ナショナル・リテラシー・トラストが発表したデータによると8人に1人がプレゼントとして本をもらったことがないことが判明した。
- 16年2月10日 ▶ピューピル・プレミアム2016がスタート——教育とチャイルドケア担当大臣サム・ジャイマーは本日、何百もの学校が貧困層の子どもたちの意欲を引き出し、彼らの潜在的な能力を十分発揮させていることを称賛した。

12 特別な教育ニーズと身体障がい (Special educational needs and disability (SEND))

- 3月12日 ▶SENDの若者へ500万ポンドの職業スキームを——SENDの若者に向けたサポートスタッフ付きのインターンシップが準備される。
- 3月25日 ▶政策文書「SEND：地方と全国のアカウンタビリティを支援する」——SENDに関する地方と全国のアカウンタビリティを支援する計画が公表。
- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：特別教育ニーズと障がい (SEND)」——SENDの子どもや若者に対して、政府がどうやって高品質の特別教育や彼らが必要とする支援を提供するか、その計画を公表した。
- 16年1月29日 ▶SENDの支援に8,000万ポンドが投入——大臣エドワード・ティンプソンは、SENDの子どもが他の子どもたちと同じ教育機会を得られるよう8,000万ポンドを投入することを発表した。

13 子どもの健康 (Children's health)

- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年の政府の方針：子どもの健康」——イングランドの公営学校の幼児学級、1年生、2年生の在学学生全員に無償給食をどのよ

- うに提供しているかを報告。
- 8月30日 ▶**学校のための初のメンタルヘルスの第一人者を発表**——一流の活動家ナターシャ・デボン (Natasha Devon) は教育省初公認のメンタルヘルスの第一人者となった。彼女は若者のメンタルヘルスに対する意識を高めると同時に不名誉を減らすであろう
- 12月3日 ▶**何百もの学校は300万ポンドのメンタルヘルスへの投資から利益を得る**——教育大臣は本日、全国の22のパイロット地域の255の学校でメンタルヘルス・サービスを向上することを発表した。
- 16年2月17日 ▶**若者による精神疾患の兆候発見援助に150万ポンド**——若者がメンタルヘルスについてオープンに話し合えるような新規のピア・ネットワークの構築に政府が支援する。本日 (2016年2月17日)、教育大臣ニッキー・モーガンによってオンライン・アドバイスやワークショップなどを通じ、若者の支援ネットワークの構築やメンタルヘルスに関する話し合いのセッティングなど若者への支援として150万ポンドの基金が用意された。

14 平等 (Equality)

- 3月4日 ▶**学校におけるベテラン勢のリーダーシップの多様性を支援する補助金を支給**——学校主導のプロジェクトを支援するため3万ポンドを上限とする補助金を支給することになった——本日、教育大臣および女性平等大臣のニッキー・モーガンは、全英の学校に対して、ベテラン勢チームがより多様性を持ちリーダーシップを発揮できるよう支援する補助金を申請するよう促した。(前掲)
- 3月24日 ▶**同性愛へのいじめ撲滅基金から200万ポンドが受賞者へ**——賞金は学校スタッフの研修を通じて同性愛や両性愛、性同一性障がい者への偏見や差別に苦しむ生徒を支援するプロジェクトに使用される——本日同性愛や両性愛、性同一性障がい者への偏見やいじめ対策への支援のため、8つの機関・組織に総額200万ポンドが交付されることが女性・平等大臣ジョー・スウィンソン (Jo Swinson) および教育大臣ニッキー・モーガンから伝えられた。
- 5月8日 ▶**政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：平等」**——公的・政治的生活と人々のライフ・チャンスにおける平等の推進と差別や不利益の軽減にむけた政府の方針が公表。
- 10月25日 ▶**男女間の賃金格差是正の新たな措置が発表**——デビッド・キャメロンは職場での成功における障壁を除去するステップを発表するとともに「チャンスは平等なしには何も無い」と発言。
 - ・大企業には男女別のボーナスの金額の強制的な情報公開および男女間の賃金格差是正の計画の報告を義務付ける。
 - ・この政府の決意の一環としてすべてのものに機会を広げるために、全英の女性と黒人、少数民族 (BME) グループを支援する計画も発表された。

15 継続教育と訓練 (Further education and training)

- 3月11日 ▶**数学と物理の教師をもっと教室へ**——キャリア変更を促す新たな取り組みが来月より開始——来月より元教師や学生時代に優秀な成績を修めたものを対象に、

数学、物理の分野へのキャリア変更が容易になるような訓練やインセンティブが開始される。(前掲)

- 7月27日 ▶NEETを減らすためにスコアカードが導入——地方当局がどのように若者を教育や雇用、訓練機関に巻き込んでいるかその成功事例が年次報告書で明らかに——本日、スキル大臣ニック・ポールズにより若者の教育や雇用、訓練機関などへの参加度合いが一目でわかるスコアカードが導入された。
- 11月5日 ▶技術・専門教育 (Technical and Professional Education: TPE) 改革は継続中——職業世界に通じるより明確なルートを備えた新たなシステムが、若者に現代経済社会で雇用者が必要とするスキルを身に付けさせるだろう——本日スキル大臣ニック・ポールズによって、世界でも有数な技術・専門教育にするための画期的な改革計画が発表された。(前掲)
- 12月17日 ▶報告書「16歳以降の教育機関オムニバス：2015年6月から7月の結果」——16歳以降の教育機関オムニバス (the post-16 institutions omnibus) に行ったアンケート調査の概要が発表された。
- 16年1月25日 ▶新法によって研修制度は「時代遅れの俗物根性」を終える——各学校はキャリアガイダンスにおいて、研修制度プロバイダやカレッジに公平にアクセスできるようにしなければならない——政府は技術・専門教育を「下に見る」ことを終わらせるための計画を発表、これにより学校は職業教育のルートにいる生徒たちが16歳以降の教育を受けられるよう平等な機会を与えなければならない。

16 教育制度の傍流にいる子どもたち (オルタナティブ部門) (Children outside mainstream education (alternative provision))

- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：教育制度の傍流にいる子どもたち」——オルタナティブ教育部門をより効果的にし、多様化させるために政府がなすべきことを報告。

17 ファミリー・ジャスティス・システム (Family justice system)

- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：ファミリー・ジャスティス・システム」——家庭において子どものニーズが常に最優先されるように政府がファミリー・ジャスティス・システムをどのように活用するのかを報告。

18 貧困と社会正義 (Poverty and social justice)

- 5月8日 ▶政策文書「2010年から2015年までの政府の方針：貧困と社会正義」——貧困に至らせるコンプレックスの問題を克服し、貧困者の生活を変えるために政府はどのような取り組みを行うのかを報告。

19 学校スポーツへの参加 (Sports participation)

- 3月16日 ▶学校スポーツ：より多くのボランティアが必要——政府は学校スポーツを組織するボランティアとコーチ、およそ1,500人を募集、トレーニングする計画を発表した。